

科目ナンバリング		U-LAS04 10005 LJ46									
授業科目名 <英訳>		心理学 I Psychology I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 人間・環境学研究科 教授		齋木 潤 月浦 崇	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		教育・心理・社会(基礎)			使用言語		日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火2			配当学年	全回生		対象学生	全学向
[授業の概要・目的]											
実験系心理学の入門的講義を通じて、実験という手法により「心の働き」を理解するアプローチに関する理解を深めることを目指す。具体的には、視覚認知や注意、記憶の基礎課程に関して実験心理学、神経科学研究を概説する。											
[到達目標]											
・「心の働き」を実験的に捉えるということはどういうことなのかを、実際の実験例の解説を通して理解する。 ・伝統的な実験心理学の方法だけではなく、神経科学的手法を通して検証する最先端の手法も学ぶことで、「心の働き」の生物学的基盤についての基礎的知識を習得する。 ・「心の働き」を客観的にみる実験心理学、神経科学の研究を理解することから、自分を客観的にみるための心構えを体得する。											
[授業計画と内容]											
基本的に以下の予定に従って講義を進める。ただし教員の予定や講義の進み具合によって、講義の順番や回数は変更することがある。 第1回 イントロダクション：授業の目的と概要 第2回－7回（月浦） 記憶 人間の記憶に関する実験心理学的研究、脳損傷事例を対象とした神経心理学研究、fMRI実験を用いた認知神経科学研究を概説する。 第8回－13回（齋木） 視覚認知 視覚的注意、物体認識、視覚ワーキングメモリなど視覚による認知過程に関する実験心理学、認知神経科学研究を概説する。 第14回 まとめ 期末試験 第15回 フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します）											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
平常点 20%、期末試験 80%で評価する。素点（100点満点）で評価する。 平常点は、授業後にPandAのクイズツールで回答を提出することにより評価する。											
[教科書]											
配布資料はKULASISに事前にアップするので、各自準備すること。											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学修（予習・復習）等]											
授業の前日までには授業資料をクラスシス上にアップロードするので、事前にダウンロードした上で内容を確認しておくこと。また、授業後には授業内容と資料を照らし合わせた上で、必要に応じて心理学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓											

心理学Ⅰ(2)

――――
復習をしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

履修者が教室定員を大きく超えた場合は履修制限を行う。履修制限の方法については別途指示する。
なお、履修登録のみをして授業には出ない等がないようにしてください。
担当教員のオフィスアワーについては、担当教員ごとに異なっているので、KULASISを参照のこと。